

「報酬改定から読み解く 今後の作業療法」

- ・報酬改定において OT と関連が深いポイントを解説
- ・医療—介護連携、介護—障害福祉、共生型の理念と概要の解説
- ・協会重点活動項目と報酬改定から今後の OT 像を探る
- ・報酬改定の審議会を傍聴してきた、協会の遠藤 OTR が他団体の要望や、OT がどのような立ち位置にいるのかについて説明。

講師

- ・遠藤千冬氏 (一社) 日本作業療法士協会事務局員 (作業療法士)。障害福祉領域で相談支援専門員として勤務後、2017 年より作業療法士協会専従事務局員として主に制度対策に関わる。
- ・泰真実氏 (若松病院、作業療法士) 元沖縄県作業療法士会保険部部長。報酬改定の度に講師を務める。

開催概要

日時：平成 30 年 4 月 25 日 (水)

時間：19:00~21:00

場所：県総合福祉センター403号室

参加費：県土会員 無料
非会員 4000 円

一般社団法人

沖縄県作業療法士会

Okinawa Occupational Therapist Association

申込：fax にて 4 月 18 日 (水) 17 時必着

問合せ：kingkong.nakachi@gmail.com (担当理事 仲地)

今回の報酬改定は、医療、介護、福祉のトリプル改定です。それぞれが独立してはいますが、重なる部分も多くなってきました。医療から地域まで幅広い領域で活動をする作業療法士はこのような制度の間こそ知っておく必要があります。今回は、日本作業療法士協会から OTR の事務局員も招聘し協会の方向性も話して頂きながら、報酬改定を紐解いていきたいと思います。年度初めで忙しい時期ではありますが、万難を排し領域を問わず多くの県土会員に参加頂きますようお願い申し上げます。 障害福祉対策担当理事 仲地宗幸